

2020年1月27日
沖縄県立那覇国際高等学校
株式会社沖縄ファミリーマート
浦添市



産学官「沖縄ファミリーマート、沖縄県立那覇国際高等学校、浦添市」連携

沖縄県産桑葉使用「スイーツ」2 アイテムを 県内ファミリーマートで期間限定発売！

株式会社沖縄ファミリーマート（本社：沖縄県那覇市/代表取締役社長：野崎真人）は、産学官連携取り組みの一環として、沖縄県立那覇国際高等学校（所在地：沖縄県那覇市/校長：仲宗根勝、以下那覇国際高等学校）と共同で浦添市の市産品「てだ桑茶」を使用して開発した「スイーツ」2 アイテムを2020年2月4日より、沖縄県内ファミリーマート全店にて、発売いたします。

<スーパー・グローバル・ハイスクールについて>

那覇国際高等学校は平成28年度から文部科学省「スーパー・グローバル・ハイスクール（以下、SGH）」指定校に選出。「島嶼圏における持続可能で自立したビジネスモデルの構築」を目指し、観光・健康・環境をサブテーマに課題研究を行う。現在、約80の班がそれぞれの課題に取り組む。※桑の葉ほか、シークワサー、ハラル等

那覇国際高等学校

SGH 課題研究企画チーム1年7組2班



開発商品



<商品開発経緯>

SGH 課題研究の一環として、SGH 課題研究企画チーム1年7組2班（5名、以下SGH1年7組2班）は「養蚕時期以外に大量廃棄されていた桑の葉」に注目。地元客及び観光客への認知拡大を図るべく、「桑の葉を広げようプロジェクト～これからのシマグワの未来～」を立ち上げ、離島含め、多くの方が立ち寄る沖縄県内ファミリーマート各店で発売する商品開発に着手。約3か月に及ぶ開発会議等重ね、発売に至る。

NEWS RELEASE

<浦添市の取り組み>

浦添市には、うらそ織という工芸品があり、絹の生産のため蚕を育てていた。そのため、早い時期から「シマグワ（島桑）」の葉や実を活用した特産品開発を推進し、その中で開発された市産品「てだ桑茶」の利用を促進。今回、SGH1年7組2班からの呼びかけにより、商品開発とPRをサポート。



開発商品 2 アイテム	
	 <p>【商品名】プリン de 桑っば 【価格】税抜：149 円、 税込：160 円 【発売日】2月4日（火）から2週間 【内容量】120g 【内容】浦添市産品「てだ桑茶」を使用した香りがよく、なめらかなプリンです。クリーム上部にも「てだ桑茶」をトッピング。</p>
	 <p>【商品名】桑っとまるもち 【価格】税抜：135 円、 税込：145 円 【発売日】2月18日（火）から2週間 【内容量】66 g 【内容】浦添市産品「てだ桑茶」入りのやわらかなもち生地で、こしあんとホイップクリームを包んだ大福です。</p>
販促物イメージ	
 <p>店頭ポスター</p>	 <p>商品 POP</p>

沖縄ファミリーマートはこれからも楽しさと新鮮さあふれる商品を提案し、ワクワクがあふれ、地元沖縄にはなくてはならない、コンビニを目指してまいります。

以上

NEWS RELEASE



【参考資料】

<株式会社沖縄ファミリーマート>

設立日：1987年10月2日

住所：沖縄県那覇市港町3丁目4番18号

代表者：代表取締役社長 野崎 真人

事業内容：沖縄県内におけるエリアフランチャイズ本部としてのチェーン展開

店舗数：327店舗（2020年1月27日現在）

<沖縄県立那覇国際高校>

住所：沖縄県那覇市天久1丁目29番1号

校長：仲宗根 勝

<浦添市>

住所：沖縄県浦添市安波茶1丁目1番1号

市長：松本 哲治